

笑ってごらん

第 631 号 H. 30. 8. 31 発行

～今日の格言～

パーフェクトでないこと。それが人間であることの証であり、同時にその人固有の魅力にもつながることなのです。
(叶恭子)



日中は残暑が厳しいが、朝夕は少し涼しい風を感じることができるようになった。毎年こんな頃に体調を崩しがちなので十分に気をつけなければならない。腹を出したまま寝るのはやめよう！

さて、2学期が始まり、学校に生徒諸君の元気な声が響くようになった。元の状態に戻っただけなのに、何だか自分が元気をもらえているような気がする。やっぱり学校という所は生徒の皆さんがいないと淋しいものだ。

さて、皆さんはどんな夏を過ごしたのだろうか？部活動や補習、アルバイトなどを頑張った人も多かろう。一方、睡眠学習(?)に勤しんだり、一日中 TV で高校野球観戦に耽ったり…。内容はともかく、いずれも夏の貴重な体験。

放課後、応援団練習が熱を帯びているのを見ると、来週の体育大会が楽しみに思えてならない。



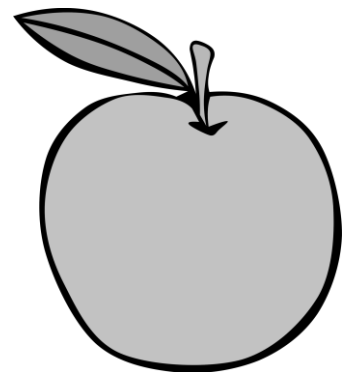
この夏、AI (人工知能) について少し学んだ。

AI は事前に与えられたビッグデータ (大量の情報) を基に計算して求められている答えを導く。

例えば、たくさんのリンゴの写真データを与えておいて、「この中から青リンゴを色で選び出ささい」という指示に対応するのが「マシラーニング」。AI は赤以外のリンゴを抽出する。一方、「この中から青リンゴを選び出ささい」という指示にすると、何の条件で選び出すのかを AI 自身が考えなくてはならない。写真同士を比較して相違点を探し出し、適切と思われる答えを出す。これを「ディープラーニング」というのだそう。

人間は経験上「青リンゴ」の「青」という色の雰囲気や学習しているので簡単に判別できるが、AI には困難という (そもそも青リンゴの色は真っ青ではない)。現在、AI 自体に「考えさせる」活動を与えることにより、AI を「鍛える」・「成長させる」段階にあるらしい。

AI はどんどん賢くなっていく。人間も「指示待ち」ではなく、「自分で考えて行動できる」ようになれば…。それが人間にとっての「ディープラーニング」であろう。



大河ドラマの影響か、この夏、鹿児島を訪れる観光客が多かったように感じる。

西郷隆盛は巨漢のイメージが強いが、銅像を見る限りではそうでもない感じがする。また、肖像画を見ると、顔は堀が深く日本人離れしているけれども、他の偉人たちと異なり写真が一切残っていないので、これも正確とは言えない。

ただ、様々な資料によれば (といっても私自身が調査した訳ではなく、雑誌を目にした程度の知識であるが)、人間的には弱い者に非常に優しい方だったことは事実のようである。残された名言からもその片鱗を伺い知ることが出来る。

われ外出するとき、路上多くの貧人に逢うが、彼らはみなあくせくして政府に税金を納めている。われは却って為すことなく安泰に生活している。これ実に痛心の至りである。